

県債現在高について

平成19年度当初予算の県債発行予定額は1,132億200万円ですが、これに18年度からの繰越分を加えると1,201億700万円となり、その結果、県債現在高は19年度末で1兆1,323億5,200万円となる見込です。

県 債 の 状 況

(単位：百万円)

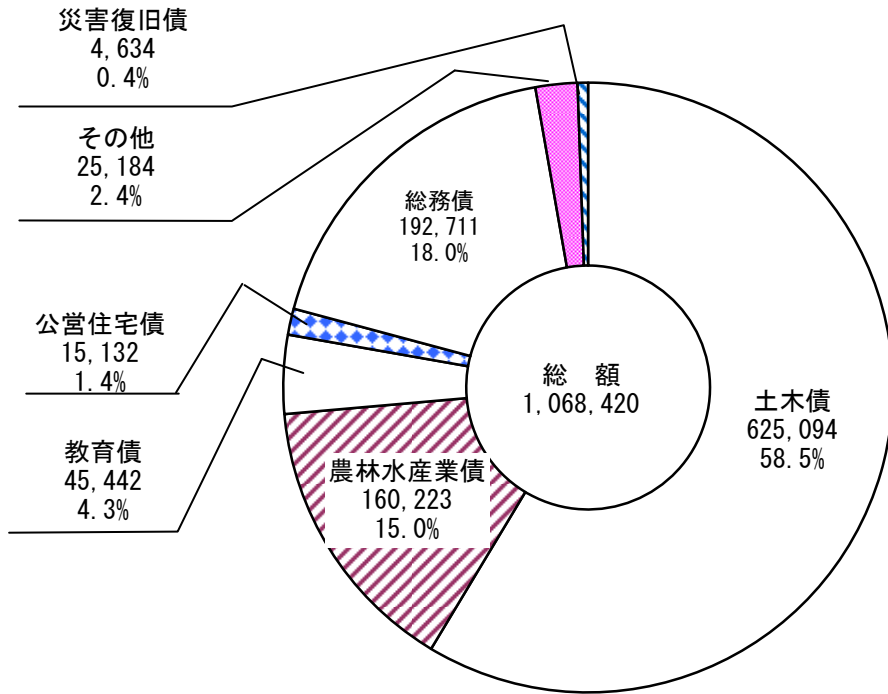
区 分	18年度末 現在高 見込額	19年度中増減見込		19年度末 現在高 見込額
		起債発行 予定額	償 還 予定額	
一般会計債	1,068,420	117,327	94,076	1,091,671
普通債	1,063,786	115,687	93,447	1,086,026
災害復旧債	4,634	1,640	629	5,645
特別会計債	30,288	2,124	2,895	29,517
母子寡婦福祉資金	757	0	0	757
農業改良資金	540	66	5	601
県 営 林	2,837	459	491	2,805
長崎魚市場	739	0	149	590
小規模企業者等設備導入資金	4,647	0	473	4,174
用 地	68	572	52	588
港湾整備	18,236	934	1,558	17,612
流域下水道	2,464	93	167	2,390
企業会計債	12,049	656	1,541	11,164
病 院	9,906	40	696	9,250
交 通	1,913	616	685	1,844
港 湾	230	0	160	70
計	1,110,757	120,107	98,512	1,132,352

また、県債現在高の内訳は次表のとおりですが、目的別にみると、道路、港湾、住宅など都市基盤の整備や地域振興を図るために充当された県債が大半を占め、借入先別にみると財政融資と銀行の資金で大半を占めています。

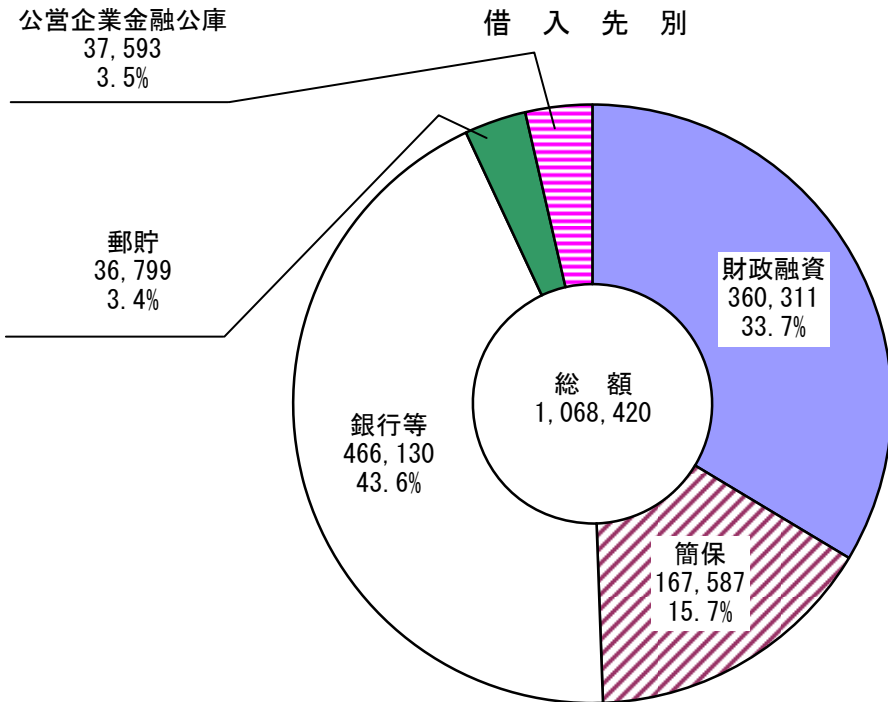
県債現在高の内訳（一般会計）

（平成18年度末見込、単位：百万円）

目的別



借入先別



ポイント!

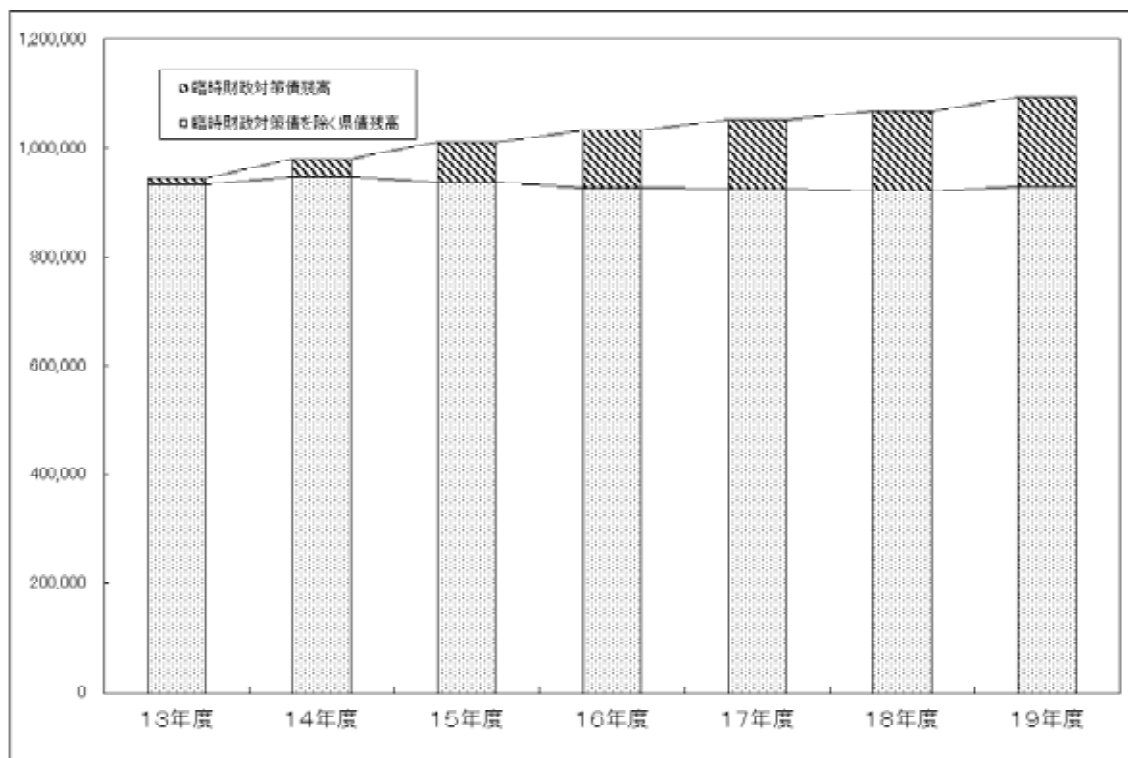
増え続ける県債残高とその理由

平成19年度末の県債残高は、1兆930億円を見込んでおり、ここ数年は右肩上がりが増え続けています。県債残高が増える理由は、地方財源不足に対応するために発行した臨時財政対策債によるものです。

臨時財政対策債とは、地方交付税の振り替えで発行が認められている特例地方債（P.24参照）であり、平成19年度末の県債残高に1,653億円含まれていますので、これを除いた県債残高は9,278億円となり、ほぼ横ばいで推移していることが分かります。

さらに、県債の約6割が後年度交付税措置されるものであり、本県では厳しい財政状況のなか、有利な県債を活用しながら県政運営を行っています。

県債残高の推移



単位：百万円

	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
県債残高	944,379	979,238	1,011,115	1,032,779	1,051,680	1,068,420	1,093,009
臨時財政対策債残高	11,156	33,837	75,376	105,329	127,746	148,335	165,256
臨時財政対策債を除く県債残高	933,223	945,401	935,739	927,450	923,934	920,085	927,753

※平成19年度は当初予算